

## ベトナム海上フンドン油田の開発移行について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)の石油開発部門である新日本石油開発株式会社(社長:大森 輝夫)は、ベトナム沖15-2鉱区ランドン油田で原油を生産しておりますが、今般、ランドン油田のサテライト油田※1として、同油田の北東に位置するフンドン油田の開発移行を決定し、原油生産設備の建設に着手いたしましたのでお知らせいたします。

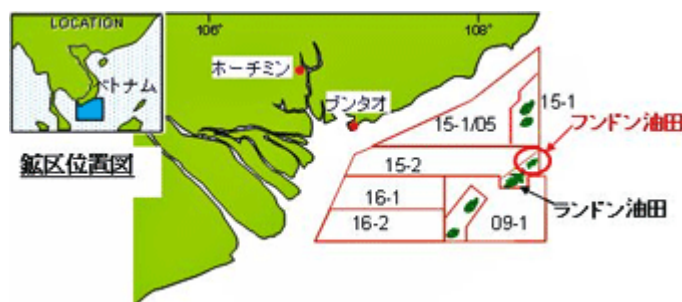
フンドン油田においては、2008年9月末に原油・ガスの生産開始を予定しており、初期生産日量は、原油換算で合計2万3千バレル(原油1万5千バレルおよびガス5千万立方フィート)となる見込みです。また、同油田は、ランドン油田の生産処理、貯油、出荷設備を利用することによりコスト削減が図られることから、当社の開発費投資見込み額は約53百万米ドル(約64億円)となります。

当社プロジェクト子会社である日本ベトナム石油(以下「JVPC」)は、フンドン油田の64.5%権益を保有しオペレーターを務め、パートナーのPVEP社(ベトナム国営石油会社子会社:35.5%)とともに、同油田の開発・生産活動を推進してまいります。

ベトナム沖15-2鉱区では、1992年10月の鉱区権益取得以降、JVPCがオペレーターとして探鉱活動を実施し、1994年6月、試掘1号井でランドン油田を発見いたしました。その後、評価・開発作業を経て1998年8月から生産を開始しており、これまでの累計生産量は1億3千5百万バレルに達しております。

※1 近傍油田の生産設備を利用して開発される油田

以上



「15-2」鉱区

## 【ベトナムプロジェクトの概要】

## 1. 『15-2』 鉱区について

ベトナム沖15-2鉱区の参加企業およびその権益比率：

## (1) フンドン油田

参加企業	権益比率	概要
日本ベトナム石油（株）（JVPC） Japan Vietnam Petroleum Company Ltd.	64.5%	<b>株主構成</b> 新日本石油開発：53.13% 新日石資源投資：43.94%（*） 三菱商事：2.93%
PVEP社 PetroVietnam Exploration and Production	35.5%	ベトナム国営石油会社子会社

（\*）新日本石油開発 100%出資子会社

## (2) ランドン油田

参加企業	権益比率	概要
日本ベトナム石油（株）（JVPC） Japan Vietnam Petroleum Company Ltd.	46.5%	同上
コノコフィリップス社 ConocoPhillips	36.0%	米国大手石油会社
PVEP社 PetroVietnam Exploration and Production	17.5%	ベトナム国営石油会社子会社

## 2. 日本ベトナム石油株式会社について

(1) 名称：日本ベトナム石油株式会社（英文名）Japan Vietnam Petroleum Co., Ltd

(2) 設立：1992年8月21日

(3) 所在地：本社…東京都港区西新橋1-3-12

現地…ベトナム事務所（所長：<sup>すずき</sup> <sup>ひろし</sup> 錫木 宏）

JVPC Vietnam Office (Vung Tau)

Petrovietnam Towers 7th floor

No.9 Hoang Dieu St., Vung Tau, S.R. Vietnam

(4) 代表者：取締役社長 大森 輝夫（新日本石油開発株式会社代表取締役社長）

(5) 資本金：225億3千万円（2007年4月30日現在）

(6) 事業目的：ベトナムにおける石油、天然ガス及びその他鉱物資源の探鉱・開発・採取ならびに鉱業権の取得・売買及び貸借等

## 3. 沿革

1992年	6月	ペトロベトナムとの間で15-2鉱区探鉱権取得の基本合意書締結
	8月	日本ベトナム石油（株）設立
	10月	ペトロベトナムとの間で生産分与契約調印
1994年	4~7月	試掘井ランドン Rang Dong 1号掘削 (2回の出油テストにて合計日量14,400バレルの原油出油に成功)
1995年	5~7月	試掘井フンドン Phuong Dong 1号掘削 (2回の出油テストにて合計日量1,100バレルの原油・コンデンセートの出油及び800万立方フィートのガスの産出に成功)
1996年	6月	商業発見宣言
1998年	8月	生産開始
2000年	2月	コノコ社に対しファームアウト実施
2001年	11月	随伴ガスの出荷開始
2002年	8~9月	8月：ランドン油田東部地域より生産開始、9月：ランドン油田南部地域より生産開始
2005年	6月	ランドン油田中部地域より生産開始 ランドン油田生産開始より累計生産量1億バレル達成
2006年	2月	ランドン油田随伴ガス回収・有効利用プロジェクトがCDM※として国連機関に登録
2007年	5月	フンドン油田開発移行

※クリーン開発メカニズム(Clean Development Mechanism)